

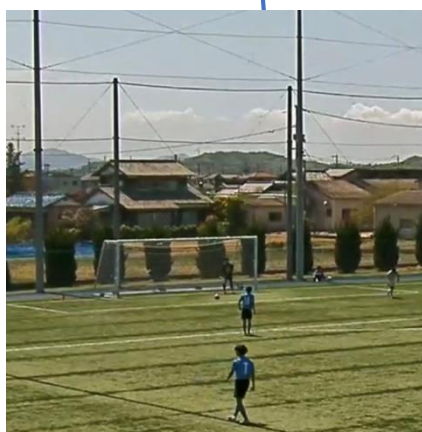
4月アカデミー活動報告書

◆プログラム						
月日	開始時刻	終了時刻	講座名	テーマ	担当	備考
4月 18日 (土)	9:00			集合		
	11:00	13:00	試合分析	プリンスリーグ中国 岡山学芸館高校-レノファ山口U18 R:宮崎 AR2佐野	内田INS	岡山学芸館 サッカー場 〒701-4247 岡山県瀬戸内市 邑久町下笠30270-10
	13:30	15:30	試合分析	プリンスリーグ中国 玉野光南高校-就実高校 R:松元 AR柳林	藤内INS	
	16:30	18:00	映像分析	2試合分	内田INS 藤内INS	西大寺公民館 〒704-8115 岡山市東区向州1-1
					片付け・解散	
4月 19日 (日)				集合・準備		
	9:30	10:00		競技規則テスト		岡山市立 旭東公民館 第二研修室 〒704-8183 岡山市東区西大寺 松崎310-1
	10:00	11:20		マンダラシート振り返り @15分	RAC生	
	11:30	12:00	分析発表	試合映像分析発表 明治安田J1 地域リーグラウンド第5節 岡山-京都	RAC生	
					片付け・解散	

1日目 試合分析 映像分析

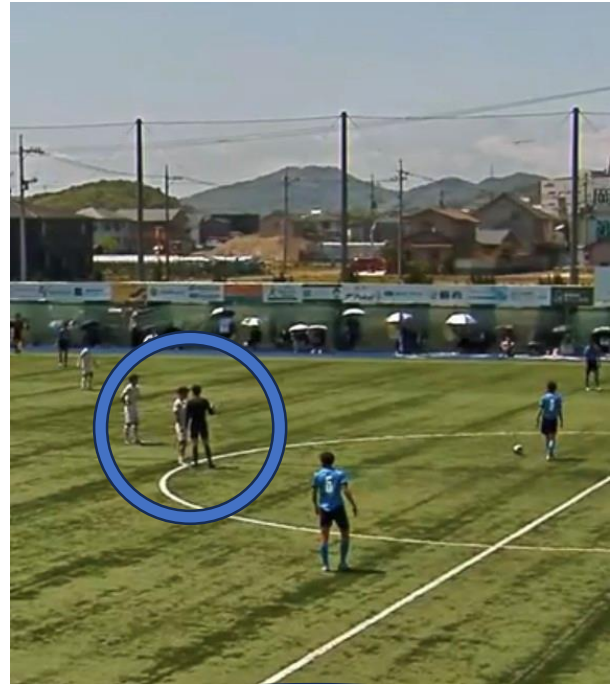


タイムマネジメント





選手の意図はどうだったか



本当に長い注意が必要だったか



現場と映像とで飛び出しの差がありました



ファールが起きた際角度も距離もいいポジションで判定をすることができた。

PKの際、どのような接触が起きそうかを予測していい角度から判定をすることができた。



この警告を示した判定の際もファールが起きたところからの距離や角度をいい位置で説得力のある判定にできた。



オフサイドの判定は少なかったが、オンオフを正しく見極めることができました。

主審が見えにくいラストタッチを積極的にサポートすることができました。



映像分析



2日目 競技規則テスト

適用ミスを起こしそうな厳選された問題を解きました。良くできた人とそうでない人の差が大きかったように思います。

マンガラート振り返り



試合映像分析



お手本となる映像を見たらそれをできる事から自分の試合にとりいれよう というお話がマスターよりありました。

アカデミー生の感想

1日目はプリンスリーグの副審をしました。前半は岡山学芸館のラインについていました。クリアした時にラインを上げたり、相手に蹴られそうな時にラインを下げたりする動きに、メリハリを持って着いていけず、少し遅れてラインに着いていくが多かったです。ハーフタイムに指導してもらい、自分なりに原因は、ボールを見過ぎだと考え、後半はクリアした時やボールを蹴られる時にDFがどんな動きをするのかを考えながら、ボールを見過ぎないように敏感にラインを合わせることを意識しました。後半は良かったと言ってもらい、改めて副審の仕事とその重要さを痛感しました。2試合目は高台からビデオ撮影をしていました。高台なのでレフェリーの動きが見やすかったのも、その時に思ったことを自分のレフェリングに活かしていきたいです。2日目は座学で、競技規則テスト、マンダラシートの改訂版発表、Jリーグ担当審判員の試合の動きとマネジメントについての分析をしました。まず、競技基礎テストは5問中1問正解でした。このテストは実際に試合で起きそうな事象の対応についてでした。この問題が解けなかったのは試合で適用ミスをする可能性があるのも、本当に競技規則を理解しないとまずいなと思いました。次に1年前に作ったマンダラシートの改訂版の発表をしました。マンダラシートを改定してみて、自分の今できていることとできていないことを整理して、新たな目標を立てたので、それをひとつずつクリアしていけるように毎日取り組んでいきます。最後にJリーグ担当審判員の試合を分析しました。その審判員は動きでは先取りや攻守が切り替わった後の体の向きや、動き出しが早いなど感じました。また、マネジメントでは、何か起きるぞという気づきと、気づいた時にすぐ行動できるのを自分も身につけられるようにしたいと思いました。

今回のアカデミー活動では今シーズンの目標をマンダラシートだけでなく、試合からも設定することが出来た活動であったと感じた。

1日目の試合実践では、動き出しのタイミングや先取りではなく後追いしてしまう回数が多いことなど局面に応じたフィジカルの足りていない部分と本当に時間をかけて対応する事象なのかどうか、選手何を考えてその選択をしたのかなどのサッカー観のなさを痛感しました。

日々のトレーニングをただ行うのではなく、長い距離、短い距離、アジリティーなど何が自分の試合で足りていないのかまで考え取り組めるようにしていきたい。

サッカー観の向上については審判として考えるだけでなく、その他の選手、監督、観客などの多角的な視点を取り入れ、どのような意図を持って選手がそのプレーを行ったのかまで考えられるようにしていきたい。

動きやポジショニングもサッカー観につながるものがあるのでたくさんの試合を見て自分の動きの引き出しを増やしていけるようにしていきたい。

また人間性の面でも自分の未熟さを感じました。人との関わり方一つとっても言い訳一つで自分のとらえられ方も変わってしまうので行動を意識するだけでなく、行動した後の言葉一つに責任を持っていけるようにしていきたい。

2日目の研修ではマンダラシートの改正と試合分析を行いました。マンダラシートでは昨シーズンからテーマを「プール・プール候補」に変更し本当に必要なものが何なのか、また1つにまとめられるものはないか、新たに加えなければならないものはないかなど振り返るいい機会になりました。体調管理とフィジカルを「体」で1つにまとめ、自身の課題であると考え「言語化」を新たに取り入れるなど、現実的に可能な行動目標を立てることが出来ました。

今シーズンでマンダラシートの課題を1つでも多く達成できるようするだけでなく、日常生活の人間性も社会に出る中でも必ず必要なことが何なのかも考えながら取り組んでいきたいと感じた。

今回のアカデミー活動では、1日目がプリンスリーグの試合を使った研修、2日目は、マンダラシートの修正版の発表、ファジアーノ岡山対京都サンガでの主審のマネジメントと動きについて共有をした。1日目のプリンスの主審では課題はポジショニングである。自分の中で良かった点は常に動き続け、角度と距離を意識しながらポジショニングを取ることができた。PKを取った場面や警告を出すファールが起きた時でもいい距離と判定することができた。しかし前半では中から判定をすることが多く、外に開くことが少なかった。そのためには先読みをして早めに動くことが大切だったがうまくできなかった。後半では少しできるようになったがロングボールに対して遅れて動き出すことが多くあった。試合状況に応じて、先に動き出したり逆に動かずに我慢をして全体を見えるようにしたり考えてポジショニングを取れるよう次に活かしていきたい。

2日目のマンダラシートの修正では1年前に考えたマンダラシートを振り返り今の自分にとってどのような目標が正しくてそのためにはどのようなことをすればいいか振り返ることができた。私は真ん中の目標を「プール候補審判員になる」という明確な目標に修正した。プール候補審判員になるためにはどのようなことをすればいいか見えるかをすることができたのでこれから先その目標に向かって迷うことがあれば、このマンダラシートを見て振り返りたい。そしてこの目標を立てたからには、その目標を叶えるために、このマンダラシートに書いたものを継続してやってきたい。一年のアカデミー活動を終え残り一年となった。これまで審判面でも人間性においても様々な経験と課題を味わうことができた。この経験を無駄にすることなく、自分の成長材料にできるようにしていきたい。

今回の活動も楽しく充実した活動になりました。1日目は試合実践、分析を行いました。今回は副審を担当しましたが映像を確認しながら、自分の良かった点、上手いかなかった点が良くわかり、次への課題が明確になりました。主審の判定を皆でディスカッションしてどうすれば正しく判定できるか、どのような事を考えながら見れば良いのかを皆で考え、色々な意見を聞くことができ学びになることが多かったです。2日目はマンダラシート改定の発表を行い、ラスト1年頑張っていこうとモチベーションがあがりました。Jリーグの映像分析も行いました。動きとマネジメントをテーマに行いプロフェッショナルレフェリーと自分たちの違いが良くわかり、とても勉強になりました。少しでも近づけるように努力していきたいと思います。

今回の活動で学びになったことは気づきの早さと動きについてです。いかに素早く危機に対して気づけるか。自分たちとプロフェッショナルレフェリーの気づきの早さの違いが良くわかり常にアンテナを張りながらやることの大切さを学びました。動きに関しては、常に足を動かし、争点に対して素早く近づく動きは学びが多かったです。それと攻守の切り替えの動きが自分は遅いのだと思いました。ボールが入れ替わってからではなく、替わるかもしれないを気づいて動きだすことが素早い攻守の切り替えにつながることを学びました。

アカデミー活動もあと1年になりましたが、人間性と審判技術両方において成長できるよう頑張っていきます。

次回は6月20, 21日(@鳥取市)の予定です。